



さとやま

10月の里といきもの

今年は、9月に入っても「猛暑」の文字が取れない異常な暑さとなりました。そんな里も、10月ともなれば昼間の時間も短くなり、気温が落ち着いて秋らしくなることでしょう。



写真は、脱穀が行われた田んぼの様子です。刈り取った稲は、木や竹、鉄パイプなどで組んだ物干しのような「はざ」にかけ、数日乾燥させる、「はざかけ」のあと、脱穀します。脱穀の終わった藁は、はざにかけなおし、後日「すずみ」にします。最近、コンバインでの稲刈りが多くなり、こうした風景はあまり見られなくなりました。

はざかけは、①じっくり乾燥させることで「後熟」が進み、アミノ酸が増えて旨味が増す。②機械乾燥よりも穏やかな乾燥で、米粒の形や味を守る。③電気やガスを使わないため、省エネでエコ。などの利点があります。

すずみは、風通しがよく、内部は雨に濡れにくいいため、藁がきれいに乾燥します。乾燥した藁は、箆（むしろ）や縄、草履、しめ縄などに加工され、天然素材で土に還るため、持続可能な資源としても注目されています。

里では、こうした伝統的な稲刈りの体験ができる講座を開催しています。ぜひ参加してみてください。



秋、里のあちこちで白い野菊の花を見かけます

ヨメナだと思っている方が多いと思いますが、実はノコンギクという種類の花です。ヨメナは里ではセンター裏の炭焼き窯の付近にだけ咲きます。



どちらもキク科に分類される多年草です。キク科植物の花は、小さな花が集まって1つの花のように見える集合花です。小さな花には花弁のある舌状花と花弁のない筒状花があります。2種は、開花時期がよく似ていて、どちらも淡紫色～青紫色の舌状花と黄色の筒状花を持ちます。また春の若芽は、おひたしなどにして食べることができるなど共通点があります。

しかし、ノコンギクは葉の表面がざらざらしており、ヨメナはつるつるして光沢があります。「ヨメナは嫁らしく優しい手触り」「ノコンギクは野性味あるざらざら感」と覚えておくとよいでしょう。また、ノコンギクは茎の上部が分かれてスプレー咲きのような散房花序という花のつき方ですが、ヨメナは枝の先に単独または少数の花をつけます。

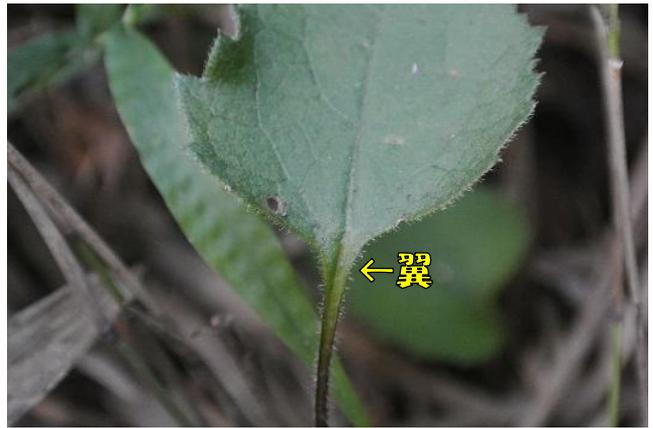
花を横から見ると、ノコンギクの総苞（花の根元の緑の部分）は細長く、ヨメナは短めで丸みがありお椀型です。

そして、舌状花、筒状花ともに、ノコンギクはがくが変化した冠毛が長く、ふさふさですが、ヨメナの冠毛は短いのですっきり見えます。そのため花が終わって種子になると、ノコンギクは長い冠毛で風に乗ることができます。これが里でノコンギクが多い理由の1つです。



晩秋

万灯山では、こんな白い野菊も咲きます



キク科に分類される多年草の**シラヤマギク**です。かぎ万燈の草刈りを免れたところから先に咲き始め、花をつける株が増えていきます。花弁のついた舌状花がまばらなことと、下の方の葉柄に翼があることで他の白い野菊と見分けられます。

こんな白い野菊たちを探してみましょ。

10月はこんな生きものも見られます

里のあちこちで、秋のアザミ、**スズカアザミ**がたくさん咲きます。キク科の多年草で、春のノアザミとは違い、枝分かれした茎に多数の花がつけます。

藤棚の奥の柿畑付近では、秋の七草の「ふじばかま」であるキク科の多年草の**サワフジバカマ**（園芸用にフジバカマとサワヒヨドリを掛け合わせたもの）の花が咲き、旅をする蝶**アサギマダラ**が訪れているところが見られるかもしれません。

また、トンボの里など、湿ったところでは、**ミゾソバ**などのタデ科の植物の花が咲き乱れます。ミゾソバは多年草で、葉の根元に牛の角のような突起があります。



センター裏や、万灯山エリアでは、変わった形の**ホトトギス**の花がみられます。ユリ科の多年草で、花びらの斑点模様が鳥のホトトギスの胸の模様に似ていることから名がついたと言われています。

万灯山では**ツリガネニンジン**と**アキノキリンソウ**のお花畑が広がります。ツリガネニンジンにはキキョウ科の多年草で、アキノキリンソウはキク科の多年草です。かぎ万燈のとき一旦草刈りされ、そこから回復して鑑賞にちょうどよい草丈になっています。

こんな秋のいきものを探して、里を散策しませんか。

8月の行事紹介



「ガラスの破片でアクセサリを作ろう！」の講座を8月24日（日）に開催しました。

佐久島の浜辺に流れ着いた青や緑、茶色のガラスの破片（シーグラス）や貝がらを使い、お気に入りの枠に配置して樹脂を流し込むと、紫外線で固まって素敵なオリジナルのアクセサリが完成♪ 佐久島では観光のついでにゴミ拾いができる「SAKUTTO」やゴミビンゴで楽しく環境問題について学べます。自然や海を守るために、できることから始めてみませんか？

10月の行事予定

5日（日）	棚田でお米づくりしようⅡ（稲刈）	60名	AM 9:30～11:30	当園職員
19日（日）	棚田でお米づくりしようⅢ（脱穀）	60名	AM 9:30～11:30	当園職員

内容：実った稲をカマで刈取り、「はざ」に掛けて乾燥させ、稲穂を脱穀機にかけ粃にします。

※「棚田でお米を作ろう」を2回受講された方には、お米をプレゼントします！また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。【予備日：5日⇒12日・19日⇒26日】

18日（土）	秋の里山でキノコを見つけよう	20名	AM 9:30～11:30	石川まゆみ
--------	----------------	-----	---------------	-------

内容：秋は落葉の上をサクサク散歩するだけでも楽しいですが、きのこを見つけるともっと楽しくなりますよ！きのこ目になって見つけてみましょう！

11月の行事予定

2日（日）	木の実・草の実を探して里山を散策しよう	20名	AM 9:30～11:30	高須桂子
-------	---------------------	-----	---------------	------

内容：赤や青に色づいた木の実・草の実やドングリを探して里山を歩きましょう。

実の中の種のほとんどは球形状ですが、中には変わった形をした種があるよ。

金運のお守りや、小さなアンモナイトもみつかるとかも。

30日（日）	小枝を使って、壁飾りを作ろう	20名	AM 9:30～11:30	三村崇子
--------	----------------	-----	---------------	------

内容：みんなで森を散策し、自然からの贈り物を見つけましょう。

小枝を自由な形に組んで飾りつけ、「森で感じ」・「森での楽しさ」を作品に閉じ込めましょう。

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が4名以下の場合には開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課